



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2020年 1月 1日発行

**1月号** 向日市上植野町西小路3-4  
**No. 106** 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 向日市議会が請願を採択

# 中学校卒業まで医療費を無償に！



市民のみなさま、新年おめでとうございます。12月の向日市議会では、市民団体から提出の「子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること」を求める請願が採択されました。議会の議決を尊重し、市は来年度予算で必ず無償化を行うよう求めます(詳細3面)。

## 今年こそ、安倍政治を終わらせる！

国政では、政権は国民をなめきった姿勢でした。「桜を見る会」疑惑は、年が代わっても真相究明が必要です。権力者が、都合の悪い文書は勝手に廃棄し、平気でウソをついても安泰である、日本をそんな腐りきった社会にしてはなりません。私達がウソに慣れきって、諦めてしまわないことです。今年こそ安倍政治を終わらせ、市民の暮らし第一の政治に変えましょう。(12月21日・杉谷 伸夫)

**向日市議会議員 杉谷伸夫** 所属政党なし  
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。シーエス・ユアサ(旧日本電池)勤務を経て2011年より向日市議会議員、3期目。65才

## 杉谷伸夫の「今年の抱負」

基本姿勢

1. 憲法いかし福祉のまちに市民の命と暮らしと人権を守ります
2. 権力者におもねず、庶民の立場で不正は許しません
3. 市民の知る権利を追求し、あらゆる場で民主主義の実現をめざします  
今年も『杉谷ひろば』をお届けします

## 取り組みのご案内

- 1/11 「桜を見る会疑惑」幕引許せる？(土) 街頭シール投票  
10時~15時・東向日イオンフードスタイル周辺
- 1/11 杉谷さんとともにまちを創る会新年会(土) 16時杉谷ひろば 参加費1000円 要申込

めざします

- 憲法改悪を絶対に許しません
- 大型開発で福祉の後退はさせません
- 公的責任で医療・介護の保障を
- 子育て先進自治体をめざします
- 原発に反対、環境を守ります

### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



# 杉谷伸夫の

## 議 会 報 告

### 一般質問より

向日市議会の12月定例会で私が行なった一般質問と答弁の一部を報告します。

#### 西向日の桜並木の景観保全 地域の景観を守る市の責務は？

西向日の桜並木は、向日市が誇るすばらしい景観の1つです。昨年2月には「西向日・桜の径と住宅地景観」が京都府景観資産に登録されました。しかし最近桜の樹が次々伐採され、この景観が守れるのか不安の声が出ています。

**問**：向日市は、西向日の桜並木の景観を守る意思はあるのか？またその手立てはあるのか？

**答**：住宅と桜並木が一体化した景観は、西向日地域特有の景観であると認識して



おり、この景観を保全するため、住宅建て替えなどの相談があった際には、桜の伐採を前提とした計画とならないよう強くお願いするとともに、西向日自治会や「西向日の桜並木と景観を保存する会」そして本市が共同で作成したチラシを渡している。桜の伐採を規制することは不可能と考えるが、景観保持の認識を深めて頂けるよう今後も引き続き丁寧に説明してゆく。

⇒ 向日市はお願いしかできないという見方は承服できない。景観は地域全体の財産であり地域と協力して守るのは市の仕事ではないか。

#### まちの重要事項は 市長が本会議で報告を！

私は、向日市の重要な事業については毎議会の初日に「市長報告」を行うことを求めてきました。そして議会として市長に申し入れを行い、12月議会で「市長報告」が行われたのですが、「議員全員協議会」という非公開の場でした。

**問**：市長は、なぜ市民が誰でも聞くことのできる本会議で市長報告を行なわなかったのか？市長の考えを聞きたい。

**答**：議長や議会事務局と相談して決めた。私としては特に報告場所について、全くこだわりはない。

⇒ 議会は、報告の場について何の制約もせず市長に一任しています。次回からは、必ず本会議の場で、市民の皆さんに対してしっかり報告頂けるものと思います。

#### 生活保護行政の改革

##### 行政が変わることを市民に示せ

今年6月に起きた、向日市の生活保護ケースワーカーが関与した事件の徹底した検証をおこない、向日市行政の課題を明らかにし、改革することが求められています。

**問**：向日市行政が変わることを市民に示してほしい。そのためには、トップの姿勢が最も重要だ。市長の思いを聞く。

**答**：市民の生命を守る仕事に携わる職員が、このような事件に関わったことは、大変遺憾であり、改めてお詫びする。職員を守り切れなかったことは、市長としての責任を重く受け止めている。市民の信頼回復と再発防止に向けて、組織を挙げて全力で検証に取り組む。

**問**：組織的な情報共有や対応がなされず個人任せになっていた疑いがある。すべての部署に共通する課題であり、総点検を行うべきでは？

**答**：第三者を含めた検証委員会で検証作業を進めている。その結果をふまえ、二度とこのような事件が起こらないよう、全庁的に情報共有のあり方や組織的な対応を検討したい。

⇒ 若手職員は、毎日2時間もの電話で不当な要求を受け続けていました。何の手も打たず見過ごし続けてきたのは信じられません。言葉だけでなく行動を求めます。(4面に関連)

## 中学校卒業まで医療費を無償に！ 幼稚園への補助を減らさないで！

### 医療費無償化の財源はある

子どもの医療費は無償に！というのは、社会の要請です。ところが国の制度は子どもの医療費軽減が何もないため、各自治体が独自に予算を組んで無償化を進めています。京都府内では、京都市・向日市など数市町の他は、すべて中学校卒業まで完全無償またはほぼ無償（月200円負担）になっています。高校生まで無償の自治体もあります。

今年9月から京都府の子育て支援医療費助成制度が拡充されました。その財源を使って向日市でも、独自の追加負担なく実施できるのです。長岡京市は9月から無償化を実施しています。議会が請願を採択したので、市は来年度から無償化に踏み切るべきです。

国は、子どもの医療費無償化を自治体任せにせず、国の制度として実施すべきです。



### 幼稚園の教材費補助廃止はダメ

私立幼稚園への助成の拡充、2歳児保育への補助、療育状況の改善の要望の他、今年は「無償化に伴って、補助を減らさないように」との内容が請願に加えられました。これまで向日市から幼稚園の保護者に出されていた一人当たり年4万2千円の教材費補助を廃止する動きがあるためです。

特に低所得世帯は、従来の補助制度によって保育料は無償または無償に近い状態だったので、今回の国の無償化による恩恵はありません。市の教材費補助が廃止されたら負担増になってしまいます。政権の選挙対策のために準備不足のまま性急に無償化をした為、高所得世帯の恩恵は大きい一方で低所得世帯は負担増になるなど様々な問題が出ており、自治体が対応に苦慮している一例です。

向日市は、議会が全会一致で請願採択した結果を尊重し、補助削減を行わないよう求めます。

**公立保育所の維持を求める請願  
私は賛成しましたが、少数否決!**

### ぐるっとむこうバス

## 乗車数は目標の3割 利便性の改善が必須

10月から運行スタートした「ぐるっとむこうバス」。運行開始から2ヶ月で、1台当たりの乗車人数は、北ルート2.6人、南ルート6.8人と目標の約3割です。

市は「宣伝不足で市民に浸透していない」「短期間で成果が出るものではない」との見解で、その通りと思います。しかし利便性の改善が絶対必要です。回数券・ICカードも検討する

とのことですが、目的地に行っても帰りは長時間待たなければいけない運行ダイヤや、乗り継ぎ便の改善などが必要です。

### 阪急バス77, 78系統の廃止は絶対ダメ！

長岡京方面にむかう阪急路線バス77, 78系統は、ぐるっとむこうバスの運行にあわせて大幅減便になりました。向日市が補助を行っても採算が取れない状態で、阪急バスは「採算が取れないなら1年後には廃止する」方針とのことですが、市民にとって重要な足であり、廃止してもらっては困ります。向日市は「何とか存続してほしい」と再三要請しているとのことですが、絶対に廃止にならないよう、強く求めます。

# 2019年を 振り返って

安野 洋子

2019年は令和に始まり桜に終わったという気がする。平成から令和への天皇の代替わりを政治利用した安倍首相は、桜でついにつまづいたということだ。

昭和から平成になった1989年と異なり、何の疑問もなく元号は令和として受け入れられた。前天皇と美智子さんの働きによって象徴として天皇が定着したのだという人もいるが、こんなに簡単に新元号を受け入れていいのだろうか。日本国憲法下の象徴天皇制は、世界の君主制の中でも権限が最小に設定された制度として誕生したのに、憲法上定められた「国事行為」以外に、天皇が様々な行為をしていないか、政権が政治利用していないかということである。また天皇側にとっても、存在意義をアピールする方が天皇制定着につながるという理由もある。

10月に行われた天皇になるための儀式「大嘗祭」

は、非常に宗教色が強いものなのに、国費を支出するやり方で認められた。天皇の祖先と言われている「天照大神」と合体するために一晩祈るという儀式は、何としても宗教色が強く理解しがたい。明治天皇から国家神道となったが、それまで天皇の墓は京都東山の泉涌寺にあり、仏教信仰であったのだ。

令和の代替わりになり、若い天皇を大いに利用しようとしているのが安倍政権である。5月にトランプ大統領が来日した折、トランプの宿泊場所まで天皇が挨拶に行くようにさせたことは、政治利用以外のなものでもない。天皇が地方に出かけた折、強制的に小学生に旗を持たせ歓迎させるのもおかしいことだ。

その天皇制を、今の象徴から「元首」しようとする右寄りの先頭に立っているのが安倍首相だ。その安倍首相が「桜を見る会」に沢山の税金を使い、自分の後援会の人を千人近く呼び私物化した。予算額は1700万円だったのに、2019年には5400万円もの支出がされ、招いた人々の中には反社会的な人物もいたという。憲政史上最悪となった安倍政権のおごりが「衰退」に近づいているのではないか。一日も早く安倍政権の幕引きがされるよう希望したい。(2019年12月11日)

## 生活保護ケースワーカー裁判

### 若手職員は孤立し、 追いつめられた

12月19日、向日市の若手の生活保護ケースワーカーが犯罪に関わった事件の3回目の裁判を傍聴してきました。この事件の背景には、向日市行政の抱える重大な課題があると思ったからです。

この日は本人尋問があり、職員が担当していた元暴力団の男から、いかにして脅迫され、追い詰められていったかが、詳細に語られました。毎日毎日2時間もの電話で不当な要求などを言われ、断ると激高してエスカレート。6月にこの男が交際する女性を殺してからは一気に激しくなり、暴力や「殺すぞ」という脅迫で、この男の言うことを拒否できない心理状態に追い込まれたようです。

向日市は、要注意対象者に対して一人の職員をこのような状態に置いたまま、なぜ組織的な対応

ができなかったのかの解明が求められます。

次回2月3日の裁判で結審の可能性が 있습니다。

★寛大な判決を求める署名は12月19日に第一次分6,967筆が裁判所に提出されました。多くの方々のご協力ありがとうございました。

## ばかげた「ふるさと納税」制度 向日市は1億円の損失

「ふるさと納税」制度で向日市は年約1億円の市民税が市外に流出していると報告されました。名前とは裏腹に、ふるさとと関係なく高額な返礼品で儲かる仕組みになっています。ネットの「ふるさと納税」サイトは、完全にショッピング感覚。長岡京市は、最近返礼品にサントリーのプレミアム・モルツを加えたところ、寄付額が爆発的に増えたそうです。「お得な返礼品」の自治体に、大切な市民の税金が流出しています。こんなばかげた制度は廃止するか、または儲からない仕組みにして、寄附の趣旨に沿うよう改めるべきです。